

陝西省プログラムを終えて

20813 川村 颯来

テーマ:日中の青少年交流を促進するには どうしたらよいか

理由

- 今、日中間で環境問題や領土問題等の様々な問題で討論が繰り広げられている中、未来に希望を持った青少年が積極的に日中間交流を行えば、いずれいかなる問題にも平和的に解決することができ、より良い日中友好関係を築けると考えたため。

訪中前

- 英語力を向上させる

→ ☒世界共通語である英語は必要不可欠。ボディランゲージには限界がある。会話が成立しなければ交流の意味がない。

- お互いの国で相手国の文化を伝える授業の機会を設ける

→ ☒そもそも相手国に興味・関心がなければ交流しようという意欲が湧かない。

訪中後

- 英語力+相手国の言語を学ぶ。
 - ↳ ☒ ホームステイ先の方は英語が通じず、とてもコミュニケーションをとるのに苦労した。また日本語を勉強していた中国の方とは円滑にコミュニケーションを取れた。
- 互いの県や国の代表が同じ授業を受ける。
 - ↳ ☒ 僕たちも中国で中国人と同じ授業を受けて、沢山交流できたし、もっとこのようなことをしたいなと意欲が上がった。

結論

- 身をもって中国の授業や文化に触れることが、最も日中交流の意欲をあげるチャンスだと思うので、これからもこのような訪問プログラムを行えば、たくさんの青少年の日中交流意識が高まると思った。
- コミュニケーションが取れなければ意味がないので、世界共通語である英語の勉強は必須であると痛感した。交流の面白さは自分の意思が伝わってこそ味わえるものだと感じた。

